

令和 6 年度

## 「運営に関する計画」

大阪市立豊新小学校

令和 6 年 4 月

## 大阪市立豊新小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

## 1 学校教育目標

- ◇豊かな心で、語り合うことのできる子どもを育てる
- ◇新たな知を拓き、真実を学び続ける子どもを育てる
  - ・たくましい身体になる子ども
  - ・ゆたかな心をもつ子ども
  - ・よく考える子ども

## 2 学校運営の中期目標

## 現状と課題

## 【生活について】

本校では、児童たちが素直で明るく、元気よくあいさつできる児童が多い。最近では、問題行動が目立つことなく、安定した学校生活ができている。さらに、児童会が活発で、主体的に行事を企画し、学校生活をより楽しく、充実したものにするために積極的に取り組むことができている。アイデアと行動力によって、学校全体が活気にあふれ、児童たちがより楽しい時間を過ごせるようになっている。そのような取り組みから高学年児童は、低学年児童に優しい心を持って接し、低学年児童は高学年児童に対して尊敬の念を持って親しんでいる。保護者や地域も学校の教育活動に多大なる支援・協力を得ることができている。

## 【学習について】

日々の学習活動で、「言語活動の充実」を目指した研究をベースとし、基礎的・基本的な知識や技能の定着を目指し、計算力向上を目的とした反復学習に取り組んでいく。令和 5 年度における全国学力・学習状況調査の結果、国語科は全国平均を上回ることができたが、算数科は全国平均をわずかに下回った。そこで、ICT を効果的に活用した学習を取り入れながら、課題に対し、自主的に解決できる授業を実践していく。さらに教科横断型となる教育課程の工夫をし、「主体的・対話的で深い学び」の実践を重ねながら、学力向上を目指す。また、外国語活動については、学習内容の深化充実ならびにモジュール学習の確実な定着を図りながら、意欲を高めていく。

体力向上に関しては、各学年とも跳躍力や持久力、俊敏性の向上を目指した指導を展開していく。令和 5 年度より、体育活動に制限がなくなったが、コロナ禍のために運動をする機会が減ってしまっていることから、児童の体力の低下が懸念される。令和 5 年度の全国体力・運動能力調査では合計点が 53.19 と大阪市の平均を上回った。しかし、コロナ前と比較すると（令和元年度 55.7）2.51 下回っている。この結果から、児童の体調面を配慮し、運動量の確保する体育科授業の推進、楽しく運動に取り組むきっかけ作りを行い、積極的に運動をする意欲の向上を図っていく必要がある。

日々の教育活動や行事等を通して、自己肯定感や自尊感情を高めることで、他者を思いやる豊かな心を育み、真実を学び続けられるようにする。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

**中期①** 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答をする児童の割合を83%以上にする。(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

**中期②** 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

**中期③** 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

**中期①** 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合40%以上にする。(施策4 誰一人取り残さない学の力向上)

**中期②** 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。(施策4 誰一人取り残さない学の力向上)

**中期②** 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。(施策4 誰一人取り残さない学力の向上)

**中期③** 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(施策4 誰一人取り残さない学力の向上)

**中期④** 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を50%以上にする。(施策5 健やかな体の育成)

### 【学びを支える教育環境の充実】

**中期①** 令和7年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について「毎日」と答える児童の割合を94%以上にする。(基本的な方向5 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進)  
授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が年間授業日の50%以上にする。(基本的な方向5 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進)

**中期②** 令和7年度末にゆとりの日について、週1回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業期間においては1日以上設定する。(基本的な方向6 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)

**中期③** 令和7年度末の校内調査の「学校は保護者や地域と連携し、協力し合えている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を令和3年度より3ポイント増加させる。(基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進)

### 3 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

#### 【安全・安心な教育の推進】

##### 全市共通目標（小・中学校）

○令和 6 年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由であってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85 %以上にする。**R5 91.2%**

（施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。**R5 0.94%**

（施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。**R5 88.9%**

（施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

##### 学校の年度目標

○令和 6 年度の校内調査「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90 %以上を維持する。**R5 95%**

（基本的な方向 1 安心・安全な教育環境の実現）

○令和 6 年度の校内調査「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を令和 5 年度より 3 %増加させる。**R5 53%**

（基本的な方向 2 豊かな心の育成）

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

##### 全市共通目標（小・中学校）

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 38 %以上にする。**R5 35.3%**

（施策 4 誰一人取り残さない学力の向上）

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。

（施策 4 誰一人取り残さない学力の向上）

**R5 国語 1.01 算数 0.93**

○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 %以上にする。**R5 78%**

（施策 4 誰一人取り残さない学力の向上）

○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90 %以上にする。**R5 92%**

（施策 4 誰一人取り残さない学力の向上）

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 70 %以上にする。

（施策 5 健やかな体の育成）**R5 69%**

##### 学校の年度目標

○令和 6 年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、最も肯定的に答える児童の割合を 65 %以上にする。**R5 64%**

（施策 4 誰一人取り残さない学力の向上）

## 【学びを支える教育環境の充実】

### 全市共通目標（小・中学校）

○授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が年間授業日の50%以上にする。

（基本的な方向5 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進）

○ゆとりの日を週1回設定する。学校閉庁日は、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業期間においては1日以上設定する。

R5 夏季3日 冬季3日

### 学校の年度目標

○令和6年度の校内調査における「読書は好きですか」の項目において、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。 R5 81% （基本的な方向8 生涯学習の支援）

○令和6年度の校内調査における「命や人権の尊さについて考えたことがありますか」の項目において肯定的に答える児童の割合を91%以上にする。 R5 93%

（基本的な方向6 人材の確保・育成としなやかな組織づくり）

○令和6年度の校内調査において「学校は保護者や地域と連携し、協力し合えている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を令和5年度より1ポイント増加させる。

R5 93%

（基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進）

## 3 本年度の自己評価結果の総括

## (様式 2)

## 大阪市立豊新小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>全市共通目標(小・学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の昨年度以上を維持する。 <b>R5 91.2%</b></li> <li>・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 <b>R5 0.94</b></li> <li>・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 <b>R5 88.9%</b></li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>いじめアンケートを定期的に実施し、当該児童から聞き取りをていねいに行い、校内いじめ対策委員会において事案を解消していくとともに、日常的にいじめはどんな理由があってもいけないことだと指導を継続していく。</p>	
<p><b>指標</b> 学期に 1 度以上、いじめアンケートを実施。いじめ対策委員会で認知したいじめについて全教職員で共通理解を図り対応する。</p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>区役所(子育て支援室)やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携を図るとともに、校内ケース会議で情報共有しながら支援を継続していく。</p>	
<p><b>指標</b> 月に 1 回、生活指導部会及び児童理解研修を実施する。</p>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>ICT の活用等による、本人、保護者と学校がつながる回数を増やす。</p>	
<p><b>指標</b> 週に 1 回以上クロームブックや電話、放課後登校等を行い、本人、保護者とのつながる機会を年間を通して設ける。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 6 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を昨年度以上を維持する。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>R5 95%</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 6 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を令和 5 年度より 2% 増加させる。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>R5 53%</b></p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>社会や集団生活でのルールについて全教職員で日常的に指導する。</p>	
<p><b>指標</b> 「豊新学びのきまり」に基づき指導に当たる。毎週児童朝会を実施し、月目標や週目標を伝え、指導・支援をする。安全教育の充実を図るために、研修や実践を学期に1回以上実施する。</p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</b></p> <p>体験活動等で得た達成感や充実感をキャリアパスポート等を活用し振り返り、自己有用感の育成を図る。</p>	
<p><b>指標</b> 学期に 2 回、キャリアパスポート等で目標の設定と振り返りを実施する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

## (様式 2)

## 大阪市立豊新小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標(小学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 40 %以上にする。 <b>R5 35.3%</b></li> <li>・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。 <b>R5 国語 1.01 算数 0.93</b></li> <li>・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83 %以上にする。 <b>R5 87%</b></li> <li>・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90 %以上にする。 <b>R5 92%</b></li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>単元や題材に即して、ペア学習・グループ学習を取り入れ、多くの場面で考えを深め合ったり、伝え合ったりできるように工夫し、学習したことを振り返る活動を取り入れる。</p>	
<p><b>指標</b> 対話の目標をもとに 1 日 1 回、学習の中で話し合う活動を実施する。また、学習の中で振り返る活動を取り入れる。</p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を目指し、個別指導やグループ指導、反復学習、家庭学習支援などを行う。</p>	
<p><b>指標</b> 単元ごとに習熟を図るため調査を実施し、個々の進捗状況を把握する。学習ドリルなどを、やり直しを含め丁寧に実施し、週に 1 度必ず点検する。</p>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>I C T 機器を活用しながら、理科的な見方・考え方興味を持たせる。学習の見通しをもって観察・実験を行い、児童自身でまとめる活動を取り入れる。</p>	
<p><b>指標</b> 単元ごとに、学習者用端末等を使用し、観察や実験結果を記録したものから学習のまとめを実施する。</p>	
<p><b>取組内容④【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>外国語活動・英語教育の深化充実、モジュール学習の定着を図るため、教員研修を充実させる。</p>	
<p><b>指標</b> 外国語活動・英語教育の教員研修会を年 3 回実施する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市立豊新小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった						
年度目標	達成状況					
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標(小学校)</b></p> <p>・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 50 %以上にする。 <b>R5 69%</b></p>						
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p><b>取組内容①【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</b> 運動の日常化のために、児童が意欲的に体を動かそうとする活動や運動強調週間を実施する。</p> <p><b>指標</b> 学校生活アンケート「外で体を動かすことが好きですか」に対して、最も肯定的な「そう思う」を回答する児童の割合を 50 %以上にする。</p> <p><b>取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</b> 保健学習や保健週間の設定において、健康で安全な生活態度や習慣を向上させる取り組みを行う。</p> <p><b>指標</b> 年 1 回以上の性教育を実施する。9 月と 1 月に「手洗い強調週間」を行う。</p> <p><b>取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</b> 栄養指導や給食指導において、食べることの楽しさやバランスのよい食生活を大切にする気持ちを養う取り組みを行う。</p> <p><b>指標</b> 食に関する指導(2回)や豊新の森を活用した活動(1回)を年に合計 3 回以上行う。</p>	進捗状況					
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析						
次年度への改善点						

(様式 2)

大阪市立豊新小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかつた		B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた
年度目標		達成状況
<b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> <b>学校の年度目標</b> ・令和 6 年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、最も肯定的に答える児童の割合を 65 %以上にする。	<b>R5 64%</b>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</b> 実施計画に基づいて、計画的に研究授業および研修会を実施する。		
<b>指標</b> 教員が一人 1 回以上の研究授業を行うとともに、学習指導に関する全体研修を 8 回以上行う。		
<b>取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</b> 主体的、対話的な活動を取り入れ、児童が自分の考えを持ち、交流を通じて考えを広げる場を設定する。		
<b>指標</b> 話型をもとに言語活動の充実を図り、1 日 1 回以上、話し合う活動を取り入れる。		
<b>取組内容③【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</b> 年 3 回学力向上 week を実施し、児童の学力向上につなげる。		
<b>指標</b> 学期に 1 回の学力向上 week (1 学期に「計算領域」、2 学期に「計算領域」、3 学期に「漢字」) を実施する。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

(様式 2)

大阪市立豊新小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>【 I C T の活用に関する目標を設定する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が年間授業日の50%以上にする。</li> </ul> <p>【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆとりの日を週 1 回設定する。学校閉庁日は、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業以外の休業期間においては 1 日以上設定する。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>R5 夏季3日 冬季3日</b></p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向番号 5 DX (デジタルトランスフォーメーションの推進)】 I C T (心の天気、デジタルドリルなど) を活用した教育を推進する。	
指標 授業の中で学習者用端末を 1 日 1 度以上使用する。 I C T を活用した教員の指導力向上のための研修会を実施する。	
取組内容②【基本的な方向番号 6 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ゆとりの日を週に 1 回設定・実施する。	
指標 ゆとりの日について、週 1 回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業期間以外においては 1 日以上設定する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p><b>学校の目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 6 年度の校内調査における「読書は好きですか」の項目において、肯定的に答える児童の割合を 83%以上にする。 <b>R5 81%</b></li> <li>令和 6 年度の校内調査における「命や人権の尊さについて考えたことがありますか」の項目において肯定的に答える児童の割合を 91%以上にする。 <b>R5 93%</b></li> <li>令和 6 年度の校内調査において「学校は保護者や地域と連携し、協力し合っている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を令和 5 年度より 1 ポイント増加させる。 <b>R5 93%</b></li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号 8 生涯学習の支援】</p> <p>学級文庫の充実ならびに地域の方の読み聞かせ活動の活性化を図り、児童がより読書に親しめる機会を増やす。</p>	
<p>指標 週に 1 回、図書館を利用する。また、年に 2 度読書週間を実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向番号 8 生涯学習の支援】</p> <p>芸術鑑賞行事ならびに多様な体験活動（社会見学）を実施し、心豊かな子どもの育成を図る。</p>	
<p>指標 芸術鑑賞行事、3～6 年生で社会見学を確実に 1 回実施する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向番号 9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>教育方針や教育活動の様子を、「学年だより」等を通してわかりやすく伝える。</p>	
<p>指標 月に 1 回、学年だより等を地域・保護者に配付する。週 1 回以上、学年の活動をホームページに掲載する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

